

旅と絆

(株)センターツーリスト「旅行友の会」会報

第48号(秋号)

発行責任者 古久保 暢男
 電話 06-6354-9131 (代)
 FAX 06-6354-9134
 E-mail c.t@f7.dion.ne.jp

「旅行友の会」企画!

2014年 望年ツアー

バリ島 4日間

❀バリの魅力❀

「神々の島」「神々の宿る島」などと称されることも多いバリ。神秘的な土地の力を感じさせられるスポットです。
 私たちは毎日、時間に追われるように生活していることが大半ですが、バリの地には時計の時間とは別の時間が存在しているかのように感じられます。
 それは、ゆったりとした心地よい流れであり、訪れた人もその大きな流れに癒されることでしょう。

バリを代表するケチャックダンス



情熱の島へ

数年ぶりの海外望年ツアー。世の中、消費税増税 社会保障の改善、戦争する国へのドルを大きく切られようとするなど、戦後の歴史の岐路とも言えるべき大変な時に差しかかっています。そんな時だからこそ、平和とくらし守る熱い思いを、情熱の島「バリ島」で大爆発を。多くの皆さんの参加を心からお待ちしています。
 会長 古久保暢男

	月日	行程	食事
1	12/8 ㊦	11:00 発ガルーダインドネシア航空 883便 (直行便)にてバリ島へ 17:10 着、夕食へご案内。ホテルへ 【バリ島クタ地区】	朝× 昼機 夕○
2	12/9 ㊦	終日、自由行動 ★オプションツアーをご用意しています 【バリ島クタ地区】	朝○ 昼× 夕×
3	12/10 ㊦	午前中、自由行動 午後、ウブド観光へご案内 (メンガイの寺院観光とモンキーフォレスト散策) 夕食へご案内、夕食後、空港へ 【機中泊】	朝○ 昼× 夕○
4	12/11 ㊦	00:35 発ガルーダインドネシア航空(直行便) 12:35 関西空港着 お疲れ様でした	朝機

★オプションご案内(日本語ガイド付き)

- ①人気スポットを巡る充実観光(昼食付・約6~7時間).....5,000円
 (バリ島生活様式見学、免税店など)
- ②バリ島終日満喫プラン(昼・夕食付 約13時間).....12,000円
 (バリ島生活様式見学、象の洞窟、金銀細工の村、ウブド市場、美術館、ロブスターディナー、ケチャックダンス)
- ③ケチャックダンスとロブスターの夕食.....7,000円

おすすめ



吉田耕三さん

天候にも恵まれ、アイガー、メンヒ、ユングフラウの三山、マッターホルン、モンテローザ等を眺めながらハイキングでき、とても幸せでした。特に山とお別れする朝、濃霧の中をロープウェイで昇り、私たちが展望台に到着した数分間だけアレッチ氷河が現れ、写真に納めることができたのが感激でした。

「アニメそっくり！」アルプスの草原

小田多久代さん

マッターホルンは最高にきれいでした。ゴルナグラードの部屋は木をたくさん使った素敵な部屋でした。ベットマーアルプのくつろぎの一時と朝の景色、湖の周りの散策はとても気持ちのいいものでした。

柿木温子さん

アルプスの雄大なトレッキング大満足でした。高山植物の豊富さと珍しい花を、いつまでもいつまでも忘れることはないでしょう。エーデルワイスの奥ゆかしい美しさにも感動しました。

今年例年になく雪の多い春先だとかで、いくつかのコースがクローズでしたが、それでも花々の中を歩けたのは幸せでした。

ハイジとペーターが、あの草原から今にも現れるのではないかと思うほど、アニメそっくりでした。初めてのヨーロッパツアー。また来てみたい遠い国でした。

期待を裏切らない！～至福のトレッキング



マッターホルンを見ながら…



名ガイドの前川さん

中野佳代子さん

スイスのハイキングと聞いただけで楽しみ嬉しさが、不安が入りまじっていましたが、現地に入らず不安は消え去り、期待で胸一杯になりました。ハイキングのコースも、私にとつては歩きやすく楽しいコースでした。

大島伸生さん

今回も新しい花との出会いが多く、同行のスイス好きの出会いもあり、旅に満足でした。花の観察では、歩行のスピードは更にゆがりの時間が欲しかったです。



山歩きのあとのビールは格別

Fさん

一人参加でしたが、皆さんに仲良くしていただき、また、いろいろな人生経験を聞かせていただいたりして勉強になりました。

アルコールも適度にいただき幸せでした。添乗員さんにはお世話になり、感謝申し上げます。

ドイツ

平和と再生可能 エネルギーの旅

菊地俊之・文乃ご夫妻



ブランデンブルグ門の前で

たまたま新聞広告を目にして、自分が抱えている課題にぴったりのツアーだと思いい住まいから遠く離れた全く知らない旅行会社にて申し込みました。

添乗してくださった瀬藤さんには大変お世話になりました。平和と再生可能エネルギーとポイントを明確にしたツアー企画は、私にとつてはありがたかた。ただ、多くの観光地を慌ただしく巡るだけのツアーにはあまり興味をそそられない私なので、今後興味ある企画に期待したいと思えます。この度は大変ありがとうございました。

き合ひの場所を、高センスにしぶとく作り上げた事実には圧倒されました。一人ひとりの力は弱いが、出発もゴールも一人ひとりの力なのだなあと思えます。帰国すると、時間に追われる日々が待っていますが、思い切つて参加してよかったです。〈北海道在住〉



ホロコーストの説明を受ける



ユダヤ人虐殺モニュメント

会員紹介

小川 佳子さん

どこを切り取っても絵になる景色。白く切り立った山々と、草原の草々。

草たちは、一つひとつ個性を放ちながら、赤青紫、黄白と、小さなきれいな花を咲かせています。写真に撮りきれません。

犬も大人料金の半額で列車に乗り、自然に同化したかに見える暮らし。

15年も前からツルハシを使って掘り進めたという高山トンネルのすごさ。山のあちこちに点在する教会とキリスト像からうかがわれる敬虔な祈りの文化。

ゴミの落ちていないイキングロード。この国の観光に掛ける意気込みを感じました。

ホテルは、最後はのぞいて、どこも清潔で食事もおおいし、一度も日本食を食べたこととは思いませんでした。でも、自由夕食で、チーズを

食べ尽くして、しばらくはチーズ料理はしないでいい気分です。

アレツチ氷河では、見えることに掛けて再訪した私たちを歓迎するかのようになれ、霧が晴れ、遠くの山々までくっきり見渡せるまでに晴れ渡ったことは、本当に偶然とはいえ、感動ものでした。



自然エネルギーは世界の流れ

福井県在住

坂上和代さん

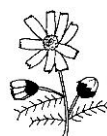
「感動 気づき」の旅でした。被害と向き合うことは、被害のそれよりかなり苦しく、厳しいことです。

それをしているドイツという国が魅力です。初めから向き合ったのではなく、戦後何年か経った後に市民運動などにより実現させたのだと知り、運動の重要性

を再認識しました。

自然エネルギーを生かすことは世界の必然の流れであると確認しました。風車がゆらゆらと回転している景色に安らぎを覚えました。

地域分散型の自然エネルギーを生み出すこと、それは地域を活性化することにもつながります。未来はこのように開けていきます。



◆秋の日帰りハイキング

～大台ヶ原～東大台周遊コース～
 日時:10月30日(木)午前8時30分
 集合:梅田・大弘ビル前
 費用:6500円(お弁当付き)
 人数:先着25名
 <大阪着19:00頃>



絶景・大蛇岬

◆「利尻・礼文 花ハイキング」

★前川さんと行く4泊5日の旅
 ～2015年6月中旬頃を予定～
 旅行代金 約25万円台(予価)

恒例のさこやファンクラブ

- ◇旅館創業約300周年!
- ◇女将喜寿祝!
- ◇吉野世界遺産10周年!
- ◇温泉開湯10周年!
- ◇新社長・新女将紹介!

日時:2014年9月27日(土)～28日(日)
 費用:12,000円(1泊2食)
 場所:吉野・さこや旅館

定員:30名先着順!

申込:センターツーリスト 定員になり次第
 締め切ります。お申込はお早目に!
 ※現地旅館集合、旅館解散

山部会

さこや

囲碁部会

写真部会

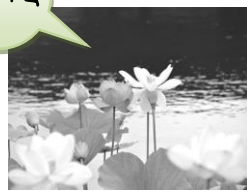
囲碁秋の陣へのお誘い

いよいよ暑い夏の到来です。今年は例年の能勢ではなく、茨木市の竜王山荘で開催します。

- ★とき 9月6日(土)～7日(日)
- ★ところ 竜王山荘(茨木市)
- ★ひよう 4500円

交通:阪急茨木市駅、JR茨木駅より約1時間かかります。

★連絡先 岡田 ☎090-6738-1144
 上村 ☎080-6177-3401



7月7日、万博公園、日本庭園内の蓮池に撮影に行きました。いつ雨が降り出すかわからない状況の下、

「蓮には雨が一番」とおぼしき者4名が参加しました。この日は月曜日。万博公園ではこの時期、金・土・日曜日は早朝6時開門で早朝に花が開く蓮を觀賞できるようにしています。

また土・日は蓮の葉から茎の中を通ってくる酒を飲む「像鼻杯」や蓮酒が飲める催しがあります。

★次回撮影会は、鴨川「友禅流し」
 …日程は未定。

★作品展 淀川区役所10～11月予定

コトヘブレイク

昨年4月、数十年ぶりに果実酒づくりに挑戦し、レモン、清見オレンジ、みかんなどの皮をはじめ、昆布、シシトフ、土生姜などを漬けたんだ。

そろそろ飲み頃と思い試飲してみると、昆布と土生姜がことのほか上品な香りであまい。

気を良くして今年、ベランダで邪魔になるくらい大きくなつたアロエを大量に付け込んだ。来年が楽しみ。

先日、買い物先のスーパリーのレジ待ちの際、「アロエを浸けたらええだしが出るのでは」と思いつき、さっそく実行した。浸けて1～2日のいりこは酸欠状態の金魚のように口を水面に向けて浮かんでいたら、3日目位からふやけてバラバラになり、底に沈んでしまった。濾しても濾してもいりこは消えず、見事失敗。

考えてみれば、いりこのダシは7日で十分抽出されるはず。再度挑戦したい。

失敗作のいりこ酒を試飲してみませんか。無料で差し上げます。